

校内研修計画

甲州市立奥野田小学校

1. 学校課題

本校は、「自ら学ぶ子ども」を学校教育目標とし、確かな学力の習得と情操豊かで生命を大切に作る心の育成のため日々創意に満ちた学校経営に努めている。教育課程の編成や日課表，時間割等の工夫改善を積極的に行い，子どもたちが学びやすい学校を目指している。

本校の児童は，全体的に明るく素直で，いろいろなものごとにもじめに取り組むことができる。30年以上続く伝統の朝マラソンにも意欲的に取り組み，心身ともにたくましく鍛えている。

学習面でも，今までの研究の成果等により基礎的・基本的な力を着実に付けてきた。また，昨年度の「伝え合い，学び合う児童の育成」の研究では，言語活動の充実を図る指導により，授業等において自分の考えをしっかりともち，みんなの前で発表することを楽しんだり，上手に伝えることができるようになってきたりしている児童が増えてきている。しかし，まだ「話すこと，聞くこと，書くこと」といった，各教科を支える重要な部分の定着が十分でない点や，友だちと関わり合って学ぶことやコミュニケーション能力が弱いといった点も見られる。

2. 研究主題

「伝え合い，学び合う児童の育成」

～言語活動の充実を図る指導を通して～

3. 主題設定の理由

学習指導要領の総則の一般方針には、「児童に生きる力をはぐくむことを目指し，創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくむとともに，主体的に学習に取り組む態度を養い，個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際，児童の発達の段階を考慮して，児童の言語活動を充実するとともに，家庭との連携を図りながら，児童の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない」と示されている。

そこで，本校児童の実態もふまえて，各教科で言語活動の充実を図りながら，互いの意見や考えを伝え合い，学び合う活動を大切にし，その機会を多く持ち，子どもたちに思考力・判断力・表現力をつけたいと考える。

今年度は，昨年度の研究を土台に「話すこと，聞くこと」に重点をおき，その力の向上を目指していきたいと考える。話す側は，理由や根拠等を明らかにしながら，小集団や全体で，友だちに自分の考えを分かりやすく伝えることを意識して発表させたい。聞く側は，友だちの発言をよく聞いて，自分の考えと比較したり，それに関連づけて発言したりすることを意識させたい。また，話の要点をとらえて聞くことも意識させたい。このように，自分や集団の考えを深めたり，発展させたりする活動を授業の中に意図的に仕組むことにより，子どもたちの，伝え合い，学び合う力を伸ばし，その過程の中で，思考力・判断力・表現力を高めることができると考え，本研究主題を設定した。

4. 研究の内容と方法

(1) 授業研究

・研究授業（低学年ブロック，高学年ブロック各1本），一人1実践授業

(2) テーマに関わる理論学習

(3) 特別支援教育の研究

(4) Q - Uの実施と分析・活用の充実

(5) 今日の教育課題関連の学習会

校内研究の年間計画

月	日	内 容	提 案 者
4	6	・今年度の研究の方向性について	研究主任
	13	・今年度の研究のテーマ，内容，組織，計画について	研究主任
	25	・今年度の研究のテーマ，内容，組織，計画等の決定 ・ブロックの組織の決定（ブロック長、授業者等）	研究主任
5	9	・学習会（テーマに関わって）	研究主任
	23	・ブロック別研究	ブロック長
	28	・研究授業の指導案検討	授業者
6	12	・学習会（特別支援教育に関わって）	担当
	27	・研究授業	授業者
7	11	・（学習会 予備日）	担当
8	24	・Q - Uの分析・活用の充実	
9	7	・教育課程説明会の還流報告	
10	17	・研究授業の指導案検討	授業者
	24	・実践授業の研究会	授業者
11	21	・研究授業	授業者
12	3	・実践授業の研究会	授業者
1	9	・教育課程の見直し作業	
	28	・校内研究の成果と課題アンケートについて ・ブロックでの研究の成果と課題について(各ブロック)	研究主任 ブロック長
2	20	・校内研究の成果と課題アンケートについてのまとめ ・研究紀要作成	研究主任
3	4	・研究紀要製本	

